## 第12回 夏の教育セミナー　2025年大学入学共通テストから考えるこれからの教育

# 選ばれる高校へ、魅力化を模索

## 「探究」深め、国公立進学に成果

公立高校の存在がいま、問われている。少子化が進み、全国の約半数の公立高校が定員割れに直面している。あるべき姿を模索する取り組みを紹介する。

「県北大学に、こんな研究をしている先生がいるよ！」

6月上旬、新潟県内南中等教育学校5年生のグループが教育実習で地域の高校を訪ねる。

「律中の教育学校で、修の訪問先を探っていた。学校行事の一環で取り組む探究学習の設定した探究テーマに関わる研究者を探し、訪問の約束を取り付けていた。プロジェクトチームは地域で働く人たちに聞いて回る。それぞれが、『県北大学』とは名乗らずに、自分たちが出会った課題や社会課題の解決策を考えて取り付けた訪問の約束。学習プログラムを企画する、株式会社リクルートでの勤務経験のある、ディレクターとしての教育